

2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年5月10日

東

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社 上場取引所
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 高崎 正年 (TEL) 03-5224-4900
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	1,935	7.9	103	—	△4	—	282	—
2018年3月期	1,794	△29.8	△29	—	△156	—	△134	—

(注) 包括利益 2019年3月期 295百万円(—%) 2018年3月期 △150百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	10.14	—	8.4	△0.0	5.4
2018年3月期	△4.93	—	△4.2	△1.9	△1.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

前期に対しまして、
 売上高 141百万円、 営業利益 133百万円、 経常利益 152百万円
 親会社株主に帰属する当期純利益 417百万円
 それぞれ、増加いたしました。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	11,115	3,508	31.4	125.41
2018年3月期	9,935	3,240	32.5	115.81

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,494百万円 2018年3月期 3,227百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	286	△1,099	884	564
2018年3月期	△150	△4,213	3,617	491

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	27	—	0.9
2019年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	55	19.7	1.7
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	1.00	1.00		34.8	

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	950	5.9	85	379.6	23	—	13	△95.3	0.47
通期	2,100	8.5	250	141.0	120	—	80	△71.7	2.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	27,881,656株	2018年3月期	27,881,656株
② 期末自己株式数	2019年3月期	14,232株	2018年3月期	13,934株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	27,867,478株	2018年3月期	27,316,172株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	1,292	9.0	96	—	△1	—	295	—
2018年3月期	1,185	△29.3	△41	—	△156	—	△126	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	10.62	—
2018年3月期	△4.62	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	11,172	3,656	32.6	130.74
2018年3月期	9,995	3,375	33.6	120.66

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,643百万円 2018年3月期 3,362百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・将来に関する記述等についてのご注意

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4） 今後の見通し」をご覧ください。

・日付の表示方法の変更

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 企業集団の状況	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. 個別財務諸表及び主な注記	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21
5. その他	23
役員の異動	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の経営成績の概況 当連結会計年度（以下「当期」）の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについても、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、アメリカの今後の政策の動向、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行きなどの海外経済要因や、金融市場の変動による影響に留意する必要があります。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、海外経済の不確実性の影響を受けつつも、概ね堅調に推移しているといえます。

このような経済状況のもと、当期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、オペレーション事業の各拠点における収益向上のためのさまざまな取り組みを積極的に進め、収益力の向上とさらなる安定化をはかってまいりました。

以上の結果、当期の当社グループの業績は、収益用不動産の増加、国内事業に対する投資回収の収益により、売上高は前年同期に対して7.9%増加し、1,935百万円となりました。各段階利益は、営業利益103百万円（前年同期は営業損失29百万円）、経常損失4百万円（前年同期は経常損失156百万円）となり、更に、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより投資有価証券売却益315百万円を計上した結果、前年同期の大幅な損失から好転し、親会社株主に帰属する当期純利益282百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失134百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

（マーチャント・バンキング事業）

当社グループは、当社、MBKブロックチェーン株式会社（連結子会社）において、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業、ブロックチェーンに係るコンサルティング業務などを営んでおります。

当期は、前年同期に対し、好調な不動産市場を捉えた収益用不動産を4物件1,569百万円を買収するとともに、今年度8月に行った産業廃棄物処理事業に対する投資が収益に貢献した結果、売上高785百万円（前年同期比53.8%増）、セグメント利益236百万円（前年同期比185.3%増）となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、引き続き、国内外の将来性のある企業や事業、特に、再生医療・ブロックチェーン・AIの3分野を重点的に投資を努めることで収益の強化を図ってまいります。

（オペレーション事業）

当社グループは、当社、株式会社ホテルシステム二十一（連結子会社）及び株式会社ケンテン（連結子会社）において、宿泊施設、ボウリング場、インターネットカフェ店舗及び服飾雑貨店の運営、並びに給食業務の受託などの多様な運営をすることでより専門性を蓄積する安定的な収益が確保できる事業を行っております。

当期は、愛媛大学医学部付属病院での給食事業が伸長するとともに、インターネットカフェ店舗が堅調な運営を推移した結果、売上高は1,149百万円となり、また、昨年度6月に営業終了となった「ホテルJALシティ 松山」を除いた前年同期の売上高1,114百万円に対しましても3.1%増加いたしました。

ただ、前年同期の売上高1,283百万円に対しましては、当社グループの主力施設となる「加古川プラザホテル」の大規模改修工事に伴う期間休業、消費者の根強い節約志向の持続や人材確保による人件費の高騰など厳しい環境の中で服飾雑貨店の運営をしている株式会社ケンテンの売上低迷の影響により、10.4%減少いたしました。また、セグメント利益に関しても、24百万円と、前年同期に対し16.9%減少いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

当連結会計年度末(以下「当期末」)の総資産は、前期末と比較して1,179百万円増加し11,115百万円となりました。総資産の主な変動要因は、貸貸用不動産の取得等による有形固定資産の増加1,400百万円であります。

(負債)

当期末の負債合計は、前期末と比較して911百万円増加し7,607百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金(1年内を含む)の増加1,026百万円であります。

(純資産)

当期末の純資産合計は前期末と比較して268百万円増加し3,508百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する当期純利益による繰越利益剰余金の282百万円増加、配当の支払による資本剰余金の27百万円減少であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて72百万円増加し、当連結会計年度末には564百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは286百万円の収入(前連結会計年度は150百万円の支出)となりました。収支の主な内訳は、投資有価証券売却益315百万円、減価償却費182百万円、税金等調整前当期純利益296百万円の計上であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,099百万円の支出(前年同期比73.9%減)となりました。収支の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,595百万円、投資有価証券の売却による収入512百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは884百万円の収入(前年同期比75.5%減)となりました。収支の主な内訳は、長期借入れによる収入1,355百万円、長期借入金の返済による支出328百万円などでありす。

(4) 今後の見通し

次期(2020年3月期)の連結業績につきましては、売上高2,100百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益250百万円(前年同期比141.0%増)、経常利益120百万円(当期は経常損失4百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益80百万円(前年同期比71.7%減)を見込んでおります。報告セグメントごとの営業利益の内訳は以下の通りです。

マーチャント・バンキング事業は、当期積極的に貸貸用不動産の取得を推し進めた結果、安定的収益基盤として、賃料収入により、310百万円程度のセグメント利益が見込まれますが、さらに積極的に新規不動産物件並びに投資案件への投資を行うとともに、収益源の多様化をはかり、セグメント利益350百万円(前年同期比47.7%増)を見込んでおります。

オペレーション事業は、「加古川プラザホテル」、「土岐グランドボウル」、インターネットカフェ2店舗(「自遊空間 津田沼北口店」並びに「自遊空間 大塚店」)並びに給食業務受託(愛媛大学附属病院)の5事業所に加え、2018年4月1日付で完全子会社化した株式会社ケンテンにおけるアパレル・雑貨等の販売事業を行っております。各事業所毎に収益力向上をはかり、セグメント利益37百万円(前年同期比50.5%増)を見込んでおります。

上記に加えて、全社管理費用は、137百万円程度(前年同期比13.2%減)を見込んでおります。

(5) 企業集団の状況

当社グループは、当社及び株式会社ホテルシステム二十一、株式会社ケンテン、MBKブロックチェーン株式会社の4社の事業会社で構成されており、これら4社を連結の範囲としております。

当社グループの主な事業内容は以下の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当事業部門は、当社が事業運営を担っており、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。株式、不動産等の投資回収によるキャピタルゲインのほか、所有する不動産からの賃料収入が主な収益源となっております。

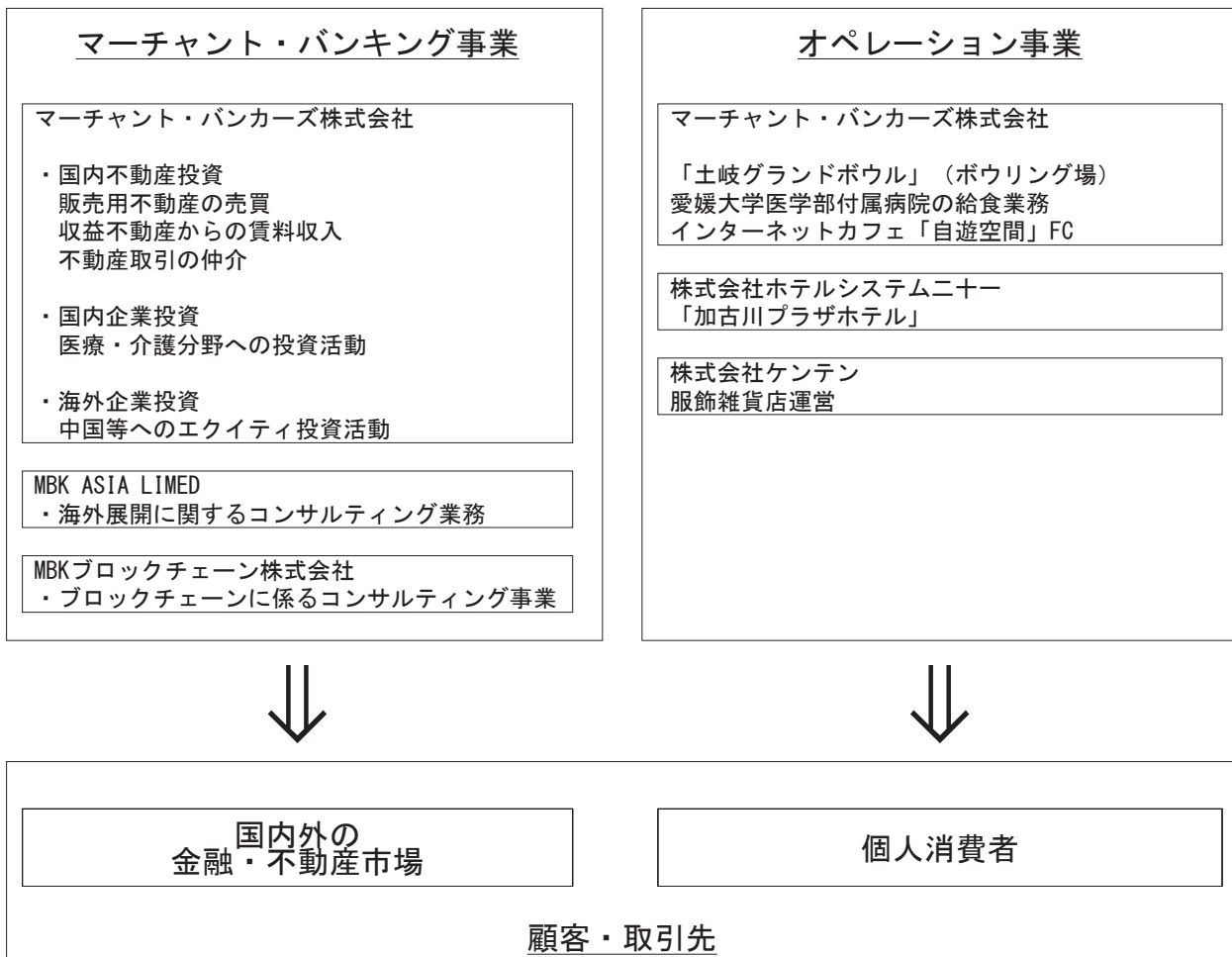
なお、2018年4月24日に設立したMBKブロックチェーン株式会社を連結子会社化しております。

(オペレーション事業)

当事業部門は、当社及び株式会社ホテルシステム二十一（連結子会社）が事業運営を担っており、加古川プラザホテル（兵庫県加古川市）、土岐グランドボウル（岐阜県土岐市）、インターネットカフェ自遊空間大塚店（東京都豊島区）・津田沼北口店（千葉県習志野市）など、宿泊施設、飲食施設及びボウリング場の運営・管理を行っております。また、愛媛大学医学部付属病院より、病院給食を受託し、提供する事業を行っております。

なお、2018年4月1日より株式会社ケンテンの全株式を取得し、連結子会社化しております。

事業の系統図は、次の通りであります。



2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準での連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	502,435	579,855
受取手形及び売掛金	76,867	98,851
営業投資有価証券	291,111	304,126
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	1,516	1,587
原材料及び貯蔵品	8,711	7,112
その他	245,020	77,927
流動資産合計	1,175,661	1,119,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,658,172	5,285,482
土地	3,551,329	4,331,188
リース資産(純額)	34,689	35,147
その他(純額)	18,524	26,312
減損損失累計額	△112,436	△127,093
有形固定資産合計	8,150,279	9,551,037
無形固定資産		
のれん	192,090	203,239
その他	2,876	3,405
無形固定資産合計	194,966	206,645
投資その他の資産		
投資有価証券	234,264	56,303
敷金及び保証金	90,281	90,081
繰延税金資産	297	651
破産更生債権等	1,920	—
その他	90,114	91,218
貸倒引当金	△1,920	—
投資その他の資産合計	414,957	238,254
固定資産合計	8,760,203	9,995,937
資産合計	9,935,865	11,115,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,054	45,468
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	294,544	333,562
未払費用	73,892	83,725
株主優待引当金	35,545	1,135
その他	62,529	76,430
流動負債合計	605,566	540,322
固定負債		
長期借入金	5,929,399	6,916,550
長期預り敷金保証金	104,413	106,422
リース債務	28,287	22,042
繰延税金負債	2,426	2,210
その他	25,761	19,588
固定負債合計	6,090,286	7,066,812
負債合計	6,695,853	7,607,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,848,568	2,848,568
資本剰余金	536,915	509,047
利益剰余金	△124,788	157,712
自己株式	△2,835	△2,949
株主資本合計	3,257,859	3,512,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,464	△17,547
その他の包括利益累計額合計	△30,464	△17,547
新株予約権	12,617	13,433
純資産合計	3,240,012	3,508,264
負債純資産合計	9,935,865	11,115,399

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,794,337	1,935,582
売上原価	746,696	914,857
売上総利益	1,047,640	1,020,725
販売費及び一般管理費	1,077,275	917,012
営業利益又は営業損失(△)	△29,635	103,713
営業外収益		
受取利息	12	13
その他	3,757	9,308
営業外収益合計	3,769	9,321
営業外費用		
支払利息	57,875	93,447
株式交付費	15,377	—
支払手数料	17,293	9,519
株主優待引当金繰入額	35,545	1,135
その他	4,579	12,992
営業外費用合計	130,671	117,095
経常損失(△)	△156,536	△4,060
特別利益		
投資有価証券売却益	37,119	315,356
保険差益	5,500	108
その他	—	83
特別利益合計	42,619	315,548
特別損失		
投資有価証券評価損	13,000	—
減損損失	—	15,034
特別損失合計	13,000	15,034
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△126,917	296,453
法人税、住民税及び事業税	7,203	14,522
法人税等調整額	414	△570
法人税等合計	7,617	13,952
当期純利益又は当期純損失(△)	△134,534	282,501
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△134,534	282,501

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△134,534	282,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,303	12,916
その他の包括利益合計	△16,303	12,916
包括利益	△150,838	295,417
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△150,838	295,417

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,701,272	389,618	63,953	△2,786	3,152,057
当期変動額					
新株の発行	147,296	147,296			294,592
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△134,534		△134,534
自己株式の取得				△49	△49
剰余金の配当			△54,207		△54,207
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	147,296	147,296	△188,741	△49	105,801
当期末残高	2,848,568	536,915	△124,788	△2,835	3,257,859

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△14,160	△14,160	—	3,137,897
当期変動額				
新株の発行				294,592
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△134,534
自己株式の取得				△49
剰余金の配当				△54,207
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16,303	△16,303	12,617	△3,686
当期変動額合計	△16,303	△16,303	12,617	102,114
当期末残高	△30,464	△30,464	12,617	3,240,012

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,848,568	536,915	△124,788	△2,835	3,257,859
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			282,501		282,501
自己株式の取得				△113	△113
剰余金の配当		△27,867			△27,867
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△27,867	282,501	△113	254,519
当期末残高	2,848,568	509,047	157,712	△2,949	3,512,379

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△30,464	△30,464	12,617	3,240,012
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				282,501
自己株式の取得				△113
剰余金の配当				△27,867
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,916	12,916	815	13,732
当期変動額合計	12,916	12,916	815	268,252
当期末残高	△17,547	△17,547	13,433	3,508,264

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△126,917	296,453
減価償却費	127,310	182,306
減損損失	—	15,034
のれん償却額	23,860	27,750
株式交付費	15,377	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△37,119	△315,356
投資有価証券評価損益(△は益)	13,000	—
株主優待引当金の増減額(△は減少)	35,545	△34,409
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	57,875	93,447
売上債権の増減額(△は増加)	34,751	△18,291
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,657	1,527
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	7,348	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,635	6,413
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△29,890	9,594
その他	△177,708	119,176
小計	△75,556	383,632
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△55,644	△92,233
法人税等の還付額	—	2,762
法人税等の支払額	△19,233	△7,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	△150,421	286,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	47,125	512,643
投資有価証券の取得による支出	△17,434	△25,138
有形固定資産の売却による収入	—	10,864
有形固定資産の取得による支出	△4,277,590	△1,595,463
定期預金の預入による支出	△6,000	△4,800
預り敷金保証金の増減額(△は減少)	35,880	2,008
敷金及び保証金の差入による支出	△35	△13,700
敷金及び保証金の回収による収入	4,925	13,900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,075
その他	△454	△620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,213,584	△1,099,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△100,000
長期借入れによる収入	4,573,000	1,355,000
長期借入金の返済による支出	△1,235,766	△328,830
株式の発行による収入	277,107	—
配当金の支払額	△54,097	△27,744
その他	△43,141	△13,913
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,617,102	884,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△526	441
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△747,429	72,619
現金及び現金同等物の期首残高	1,239,264	491,834
現金及び現金同等物の期末残高	491,834	564,453

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動資産に表示されていた「繰延税金資産」269千円及び投資その他の資産に表示されていた「繰延税金資産」27千円は、投資その他の資産の「繰延税金資産」297千円として組替えております。また、流動負債に表示されていた「繰延税金負債」212千円及び固定負債に表示されていた「繰延税金資産」2,213千円は、固定負債の「繰延税金資産」2,426千円として組替えております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社代表取締役社長が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、主に当社が営んでいる、国内外の企業・不動産向け投資事業等を営む「マーチャント・バンキング事業」、宿泊施設、飲食施設及びボウリング場の運営・管理等を営む「オペレーション事業」の2事業から構成されております。

また、当社では、効率的なグループ経営及び事業間のシナジーの最大化を目指して、グループで営むこれら2事業を統括しております。

一方で、これら2事業は、成長戦略、経営管理の手法、並びに人材等の求められる経営資源などが大きく異なっているため、具体的な経営戦略の立案・実行及び採算の管理等について、それぞれ独立した経営単位として、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、マーチャント・バンキング事業とオペレーション事業の2つの主要な事業を、報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	連結財務諸表 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	501,994	1,283,342	1,794,337	—	1,794,337
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	501,994	1,283,342	1,794,337	—	1,794,337
セグメント利益又は 損失(△)	83,054	29,591	112,645	△142,280	△29,635
セグメント資産	8,123,124	972,351	9,095,476	840,389	9,935,865
その他の項目					
減価償却費	110,259	16,796	127,055	254	127,310
のれんの償却額	—	23,860	23,860	—	23,860
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	4,269,476	8,568	4,278,044	—	4,278,044

(注) 1 調整額は、以下の通りになります。

- (1)セグメント利益の調整額△142,280千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引であり、主に一般管理費によりなっております。
 - (2)セグメント資産の調整額840,389千円は、主に提出会社での余資運用資金285,082千円及び投資有価証券232,830千円及び未収消費税等143,434千円となっております。
 - (3)減価償却費の調整額254千円は、管理部門に属する資産の減価償却費になります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	連結財務諸表 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	785,791	1,149,791	1,935,582	—	1,935,582
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	785,791	1,149,791	1,935,582	—	1,935,582
セグメント利益	236,937	24,587	261,524	△157,811	103,713
セグメント資産	9,567,913	999,684	10,567,597	547,801	11,115,399
その他の項目					
減価償却費	164,481	17,570	182,051	254	182,306
のれんの償却額	—	27,750	27,750	—	27,750
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,604,137	4,735	1,608,873	620	1,609,493

(注) 1 調整額は、以下の通りになります。

(1)セグメント利益の調整額△157,811千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引であり、主に一般管理費によりなっております。

(2)セグメント資産の調整額547,801千円は、主に提出会社での余資運用資金327,158千円、投資有価証券54,869千円等となっております。

(3)減価償却費の調整額254千円は、管理部門に属する資産の減価償却費になります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」をご参照ください。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

有形固定資産は本邦に所在しているもののみであり、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (単位:千円)	関連するセグメント名
国立大学法人愛媛大学医学部	282,980	オペレーション事業

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」をご参照ください。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

有形固定資産は本邦に所在しているもののみであり、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (単位：千円)	関連するセグメント名
国立大学法人愛媛大学医学部	298,561	オペレーション事業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業	全社・消去	合計
減損損失	—	15,034	—	15,034
計	—	15,034	—	15,034

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：千円)

	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	23,860	—	23,860
当期末残高	—	192,090	—	192,090

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	27,750	—	27,750
当期末残高	—	203,239	—	203,239

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額 115円81銭 1株当たり当期純損失 △4円93銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。	1株当たり純資産額 125円41銭 1株当たり当期純利益 10円14銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 又は親会社株主に帰属する当期純損失 金額(△)(千円)	△134,534	282,501
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額又は親会社株主に帰属 する当期純損失金額(△)(千円)	△134,534	282,501
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,316	27,867

(重要な後発事象)

該当ありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	302,954	369,964
売掛金	51,070	53,904
営業投資有価証券	291,111	304,126
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	1,516	1,587
原材料及び貯蔵品	4,829	3,977
前払費用	46,117	42,551
前渡金	48,000	—
その他	158,682	34,397
流動資産合計	954,282	860,509
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,650,378	5,277,827
構築物	6,885	6,885
機械及び装置	2,949	2,949
工具、器具及び備品	15,200	22,462
リース資産	32,941	34,238
土地	3,551,329	4,331,188
減損損失累計額	△112,436	△127,093
有形固定資産合計	8,147,249	9,548,458
無形固定資産		
のれん	10,952	9,047
ソフトウェア	401	930
その他	308	308
無形固定資産合計	11,662	10,287
投資その他の資産		
投資有価証券	232,830	54,869
関係会社株式	469,643	517,643
破産更生債権等	1,920	—
敷金及び保証金	89,916	89,716
長期前払費用	89,484	90,780
その他	10	10
貸倒引当金	△1,920	—
投資その他の資産合計	881,883	753,019
固定資産合計	9,040,795	10,311,765
資産合計	9,995,078	11,172,274

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,935	30,432
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	294,544	333,562
リース債務	5,252	5,838
未払金	11,029	17,321
未払費用	24,836	26,238
前受金	23,637	16,261
預り金	1,182	895
未払法人税等	12,319	22,501
株主優待引当金	35,545	1,135
その他	—	419
流動負債合計	539,283	454,606
固定負債		
長期借入金	5,929,399	6,916,550
リース債務	18,589	16,002
繰延税金負債	2,426	2,210
長期預り敷金保証金	104,413	106,422
その他	25,761	19,588
固定負債合計	6,080,588	7,060,773
負債合計	6,619,871	7,515,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,848,568	2,848,568
資本剰余金		
資本準備金	417,597	420,384
その他資本剰余金	119,317	88,662
資本剰余金合計	536,915	509,047
利益剰余金		
利益準備金	5,420	5,420
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,984	300,922
利益剰余金合計	10,405	306,343
自己株式	△2,835	△2,949
株主資本合計	3,393,053	3,661,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,464	△17,547
評価・換算差額等合計	△30,464	△17,547
新株予約権	12,617	13,433
純資産合計	3,375,206	3,656,894
負債純資産合計	9,995,078	11,172,274

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,185,689	1,292,540
売上原価	635,133	793,590
売上総利益	550,555	498,949
販売費及び一般管理費	591,946	402,889
営業利益又は営業損失(△)	△41,390	96,059
営業外収益		
受取利息	10	11
関係会社業務受託料	12,000	12,000
その他	3,589	7,721
営業外収益合計	15,599	19,733
営業外費用		
支払利息	57,714	93,254
株式交付費	15,377	—
支払手数料	17,293	9,519
株主優待引当金繰入額	35,545	1,135
その他	4,579	12,986
営業外費用合計	130,510	116,895
経常損失(△)	△156,302	△1,102
特別利益		
投資有価証券売却益	37,119	315,356
保険差益	5,500	108
その他	—	83
特別利益合計	42,619	315,548
特別損失		
投資有価証券評価損	13,000	—
減損損失	—	15,034
特別損失合計	13,000	15,034
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△126,682	299,411
法人税、住民税及び事業税	△256	3,689
法人税等調整額	△208	△216
法人税等合計	△465	3,473
当期純利益又は当期純損失(△)	△126,217	295,937

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	2,701,272	270,301	119,317	389,618	—	190,830	190,830
当期変動額							
新株の発行	147,296	147,296		147,296			
当期純損失(△)						△126,217	△126,217
自己株式の取得							
利益準備金の積立					5,420	△5,420	—
剰余金の配当						△54,207	△54,207
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	147,296	147,296	—	147,296	5,420	△185,845	△180,424
当期末残高	2,848,568	417,597	119,317	536,915	5,420	4,984	10,405

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△2,786	3,278,934	△14,160	△14,160	—	3,264,774
当期変動額						
新株の発行		294,592				294,592
当期純損失(△)		△126,217				△126,217
自己株式の取得	△49	△49				△49
利益準備金の積立		—				—
剰余金の配当		△54,207				△54,207
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△16,303	△16,303	12,617	△3,686
当期変動額合計	△49	114,118	△16,303	△16,303	12,617	110,431
当期末残高	△2,835	3,393,053	△30,464	△30,464	12,617	3,375,206

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	2,848,568	417,597	119,317	536,915	5,420	4,984	10,405
当期変動額							
当期純利益						295,937	295,937
自己株式の取得							
資本準備金の積立		2,786	△2,786	—			
剰余金の配当			△27,867	△27,867			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	2,786	△30,654	△27,867	—	295,937	295,937
当期末残高	2,848,568	420,384	88,662	509,048	5,420	300,922	306,343

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△2,835	3,393,053	△30,464	△30,464	12,617	3,375,206
当期変動額						
当期純利益		295,937				295,937
自己株式の取得	△113	△113				△113
資本準備金の積立		—				—
剰余金の配当		△27,867				△27,867
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			12,916	12,916	815	13,732
当期変動額合計	△113	267,956	12,916	12,916	815	281,688
当期末残高	△2,949	3,661,009	△17,547	△17,547	13,433	3,656,894

5. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、決定次第速やかに開示致します。